

## 第3章 まちづくりシナリオ

---

第1章



公共空間再編整備計画とは

第2章



まちの現況分析



第4章



公共空間の再編計画

第5章

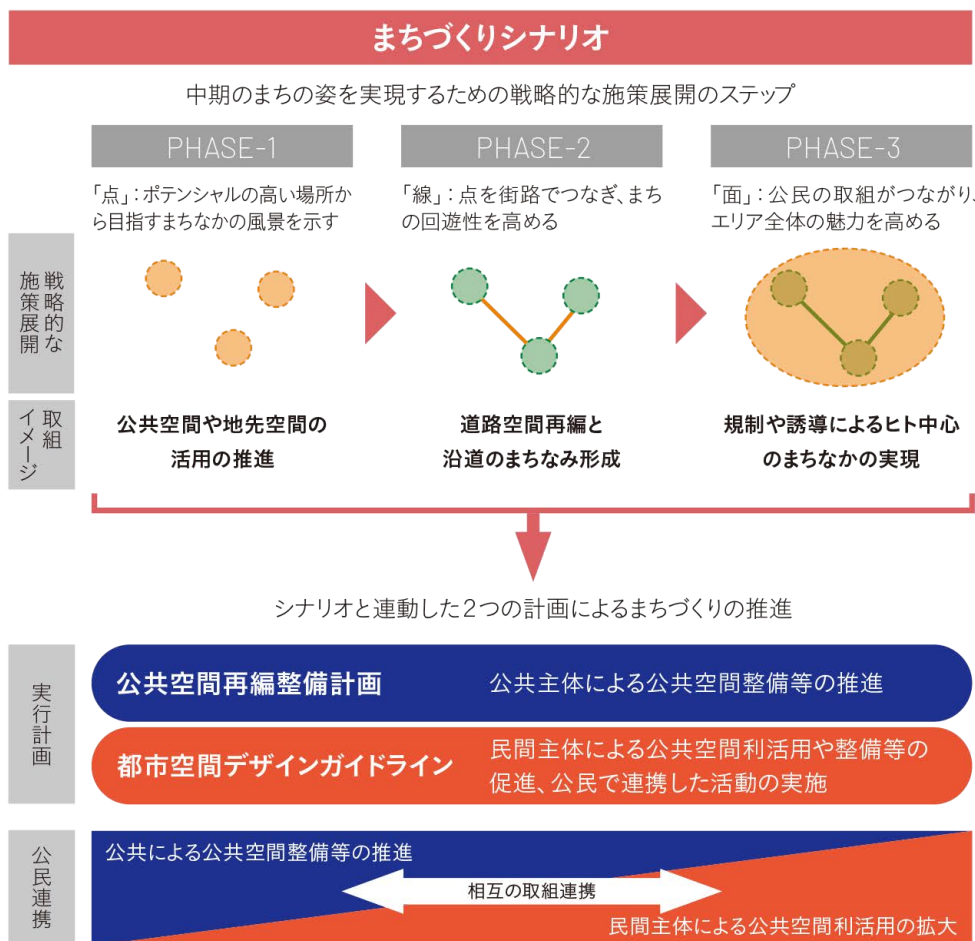


今後の取組の進め方

# 1 まちづくりシナリオとは

「中心市街地まちづくり戦略」で示された中期のまちの姿の実現に向けて、どこから、どのような考え方で、沼津の中心市街地が変化していくと、まちの変化への期待感が沸き、民間との連携が進んでいくのか、その「実践する手順、施策、狙う効果」を「まちづくりシナリオ」として描き、公民で共有しながら一体となった取組を進めて行くことを目指します。

「まちづくりシナリオ」の展開に当たっては、まちなかの公共空間や資源をまちにひらくことで生まれる風景を、日常へとつなげ、ヒト中心のまちなかの姿を創り出していくという「OPEN NUMAZU(オープンヌマヅ)」の考えのもと、取組を進めていきます。



## (参考) 都市空間デザインガイドラインとは

- 魅力あるまちの形成には、公共と民間が連携し、公共空間と沿道建築物が一体となった質の高い空間や洗練されたまちなみ、にぎわい空間を創出することが重要です。
- 都市空間デザインガイドラインは、行政はもとより、民間事業者や住民が主体的に魅力的な空間づくりを行えるよう、都市空間の望ましい姿やその実現に向けたアイデア等を取りまとめ、指針として示すものです。
- まちなみの現状分析を踏まえて、ヒト中心の都市空間の実現に必要な要素として、Activity、Street、Managementの3つを抽出し、各要素ごとの取組を循環・推進していくことでヒト中心の都市空間の実現を目指していきます。

## ヒト中心の都市空間の実現に必要な3つの要素

- ① 街路空間を活かした多様なアクティビティ Activity
- ② 中心市街地にふさわしい質の高いまちなみ Street
- ③ 公民連携により段階的に成長する仕組み Management



具体的なアイデア例

A-1. グランドレベルにおける民地からの滲み出し

墨田区

A-2. 地先空間を活用した、小さい滞留空間づくり

神戸市(サンキタ通り)

S-2. 環境にやさしく、自然を感じる快適な空間

仙台市(定禅寺通り)

S-3. 沼津らしさを感じる品格のあるまちなみデザイン

福岡市(福山本通・船町商店街)

M-1. 民間事業者等による積極的な公共空間の利活用

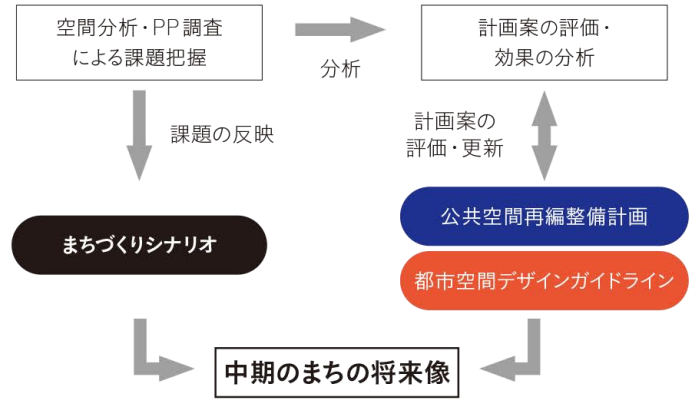
静岡市(呉服町通り)

M-3. 民間敷地と公共空間の一体的更新

福岡市

まちの現況分析を踏まえ、まちづくりシナリオでは右に示すステップで施策を展開し、ステップごとに公共空間の再編と民間事業者によるまちづくりとの連動を目指します。

また、各ステップにおいて、公共空間再編施策の内容が及ぼす将来のヒトの動きを回遊行動シミュレーションで確認し、ヒトの流れを生み出し、ヒト中心のまちなかの実現を確実に進めることのできるアクションを実行していきます。



**(参考) 回遊行動シミュレーションとは**

令和2年度に実施したプロブパーソン調査結果や駅まち環状エリアの特性(道路状況、施設立地等)を踏まえ、人の回遊行動を予測するシミュレーションモデルを構築し、中期において駅前広場や駅前街路の再編等を行った際の回遊行動に対する効果や影響を分析するものです。

## 2 まちづくりシナリオの概要【5-15年での実現ステップ】

		点「つかう・つくる」		線「つながる」		面「ひろがる」	
		PHASE 1-1(令和3年度～)	PHASE 1-2(令和4年度～)	PHASE 2-1(令和6年度～)	PHASE 2-2(令和9年度～)	PHASE 3-1(令和12年度～)	PHASE 3-2(令和15年度～)
イメージ							
施策概要・狙い		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの貴重なオープンスペースである中央公園での利活用の取組に加え、空間のポテンシャルが最も高い(都)三枚橋錦町線西側区間において車道の一部を歩行者空間化する社会実験を実施する。</li> <li>・公共空間の利活用に対する機運やまちの変化に対する市民の期待を醸成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験を踏まえて、(都)三枚橋錦町線西側区間における定期的な地先空間活用を図り、まちなかに新たな滞留・にぎわいスポットを生み出す。</li> <li>・仲見世商店街周辺で地先空間活用に係る新たな取組を試行し、「(都)三枚橋錦町線西側区間・仲見世商店街・中央公園・旧国1南エリア」へ歩行者の回遊を生み出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口駅前広場の暫定整備に向けて、一般車乗降場の東西分散化・周辺交通への影響に関する社会実験を実施する。</li> <li>・(都)三枚橋錦町線西側区間の再編整備、整備後の歩行者空間の利活用を推進し、駅からの動線及び仲見世商店街・中央公園を含む南北のつながりを強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口駅前広場の暫定整備とUR敷地での活動拠点づくりにより、開かれた空間を駅前に創出し、まちなかにヒトの交流によるにぎわいを生み出す。</li> <li>・(都)沼津駅沼津港線等の空間再配分に向けて、車線数の減少・沼津駅南口交差点の地上横断化に関する社会実験を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前街路の再編整備、沼津駅南口交差点の地上横断化により、歩きやすいまちなかを実現し、歩行者回遊範囲の面的拡大を図る。</li> <li>・(都)沼津駅沼津港線沿道と仲見世商店街周辺の連携による空間活用により、東西方向でのヒトの流れを生み出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回遊環境の向上に合わせて、民間主導による低未利用地の活用や既存店舗の改修などを推進し、取組をエリア全体に広げていくことで、まちなかのエリア価値を高める。</li> </ul>

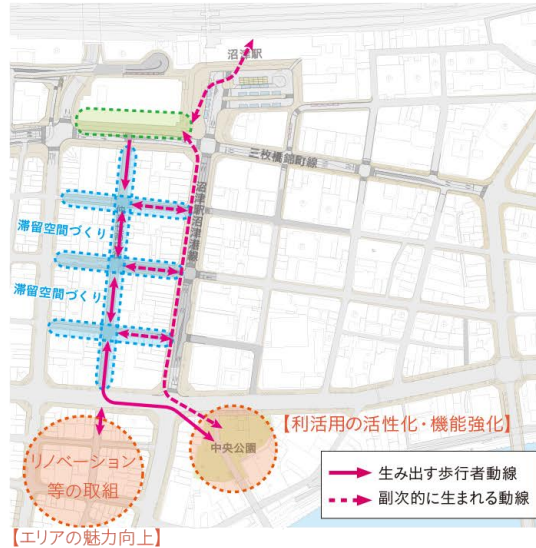
### 3 まちづくりシナリオ PHASE-1

PHASE-1では、公共空間の小さな活用や限定的な地先空間の活用を推進し、まちなかでのアクティビティの増加を目指します。具体的には、公民で連携した「つかう・つくる」取組の推進として、(都)三枚橋錦町線西側の道路空間や仲見世商店街等でのチャレンジを支援し、活動の定期化に繋げることを目指します。

PHASE1-1 点「つかう・つくる」



PHASE1-2 点「つかう・つくる」



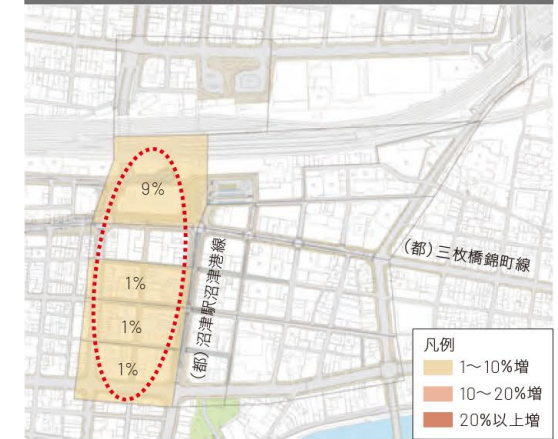
公共空間再編整備計画に関する主な取組	駅前広場		
	駅前街路	・(都)三枚橋錦町線西側区間における社会実験の実施(滞在空間づくり・交通影響確認)	・利活用を見据えた <b>商業者、公共</b> による駅前街路に必要な設え等の検討
	地区交通体系	・ <b>民間駐車場等と連携</b> したシェアサイクル等のポート設置検討	・ <b>商業者</b> との駅前街路における荷捌きスペース確保・ルールづくり、駅前街路への出入口設置規制に関する検討
都市空間デザインガイドラインに関する取組		・(都)三枚橋錦町線西側区間における社会実験において、 <b>商業者</b> によるActivityの取組を実験的に実施	・(都)三枚橋錦町線西側区間において、社会実験を契機に <b>商業者と連携</b> した、定期的な地先空間活用への発展(Activity)、駅前街路活用におけるルールの検討 ・仲見世商店街周辺において、公共支援のもと <b>商業者</b> によるActivityの取組を実験的に実施

#### ■シナリオのシミュレーション

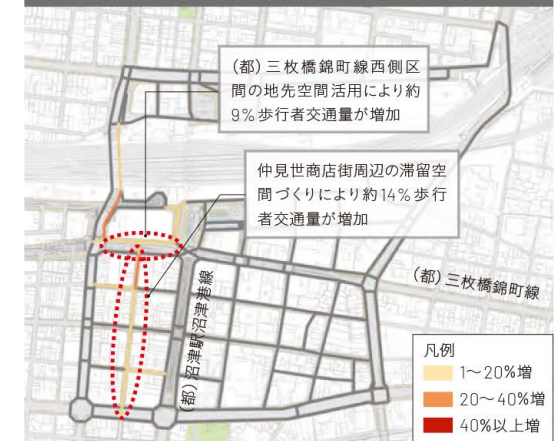
##### PHASE-1で予測される歩行者の動き

- ・イーラdeから仲見世商店街にかけて来訪者数が増加する。
- ・(都)三枚橋錦町線西側区間から仲見世商店街、中央公園前の交差点にかけて歩行者交通量が増加する。

現況からの来訪者数の変化率(単位:%)



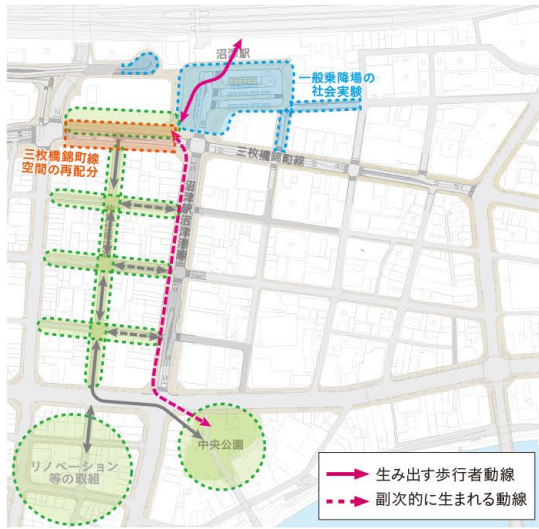
現況からの歩行者交通量の変化率(単位:%)



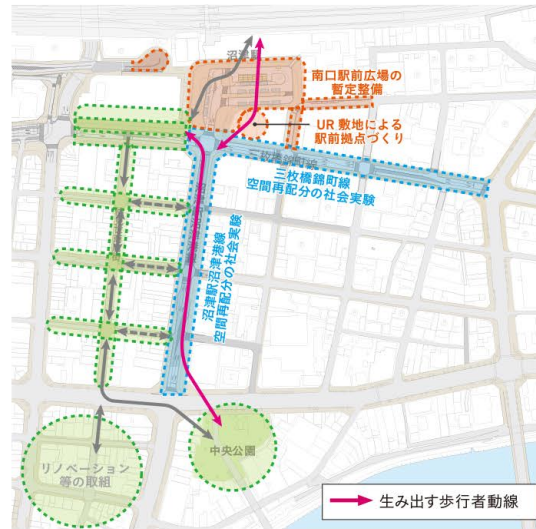
## 4 まちづくりシナリオ PHASE-2

PHASE-2では、公共空間の再編整備に着手し、市民が日常的に憩い、利活用できる空間をまちなかに創出し、駅前の活性化を図ります。具体には、(都)三枚橋錦町線の西側区間の整備や南口駅前広場の暫定整備に向けた取組を進めるとともに、生み出された空間を活用したアクティビティを有機的につなげることでヒトの滞留や流れを生み出し、まちのにぎわいにつなげます。

PHASE 2-1 線「つながる」



PHASE 2-2 線「つながる」

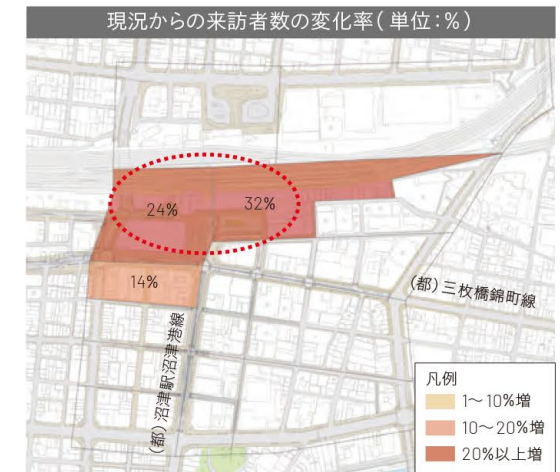


公共空間再編整備計画に関する主な取組	駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者等と連携した南口駅前広場における一般車乗降場の東西分散化・周辺交通への影響に関する社会実験の実施、UR敷地の暫定活用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南口駅前広場の設計・暫定整備</li> </ul>
	駅前街路	<ul style="list-style-type: none"> <li>(都)三枚橋錦町線西側区間の設計・再編整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業者、交通事業者等と連携した(都)沼津駅沼津港線、(都)三枚橋錦町線東側区間における空間再配分の社会実験の実施</li> </ul>
都市空間デザインガイドラインに関する取組	地区交通体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>■(都)三枚橋錦町線西側区間                             <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場出入口の設置規制</li> <li>自転車専用通行帯の設置</li> <li>必要に応じた荷捌きスペースの整備、ルールに基づいた商業者による運用</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■南口駅前広場                             <ul style="list-style-type: none"> <li>タクシープール数の見直し、バス乗降場の再編</li> <li>一般車乗降場の分散配置に伴う一方通行規制の変更</li> </ul> </li> <li>■(都)沼津駅沼津港線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>東西横断歩道設置・スムーズ歩道化の検討</li> <li>大手町バス停の乗降場確保や集約可能性の検討</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>(都)三枚橋錦町西側区間において、Streetの取組を実施(商業者の取組・公共の整備によるまちなみ形成)</li> <li>UR敷地の暫定活用として、商業者によるActivityの取組を実験的に実施・敷地活用ルールを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南口駅前広場において、Activity、Streetの取組を段階的に実施(商業者の取組、公共の整備など)</li> <li>駅前街路の社会実験において、商業者によるActivityの取組を実験的に実施</li> </ul>

### シナリオのシミュレーション

#### PHASE-2で予測される歩行者の動き

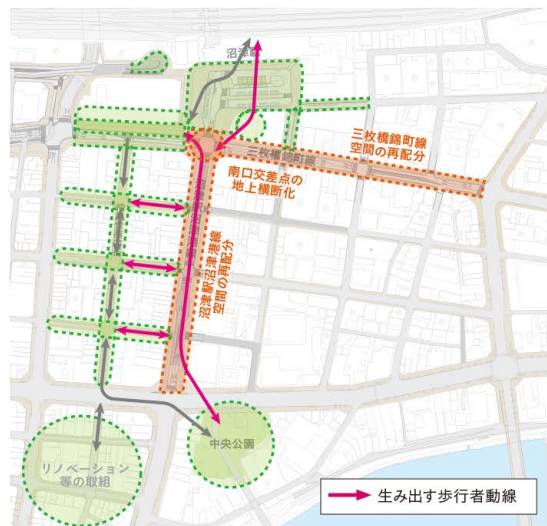
- ・南口駅前広場の暫定整備により、沼津駅周辺への来訪者数が増加する。
- ・南口駅前広場周辺の歩行者交通量が増加するとともに、沼津駅周辺へのアクセス増加に伴い、(都)沼津駅沼津港線においても歩行者交通量が増加する。



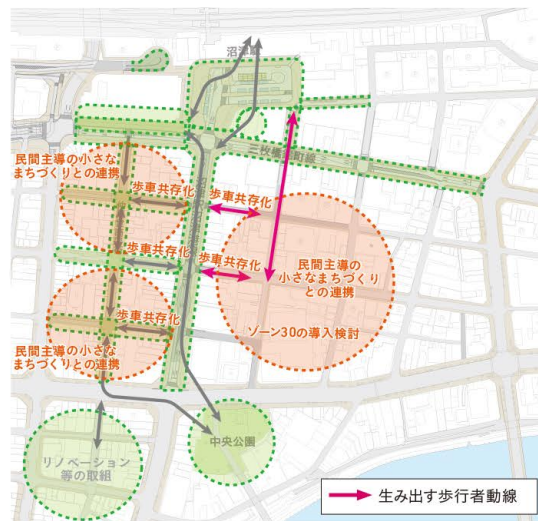
## 5 まちづくりシナリオ PHASE-3

PHASE-3では、駅前街路の再編に取り組みとともに、地区交通施策とも連携を図りながら、ヒト中心で歩きやすいまちなかへの転換を目指します。具体的には、(都) 沼津駅沼津港線等の再編、沼津駅南口交差点の地上横断化に向けた取組を進めるとともに、まちなかでのアクティビティや回遊が面的に拡大し、訪れた人が歩いて楽しめるまちなかを目指します。

PHASE 3-1 面「ひろがる」



PHASE 3-2 面「ひろがる」



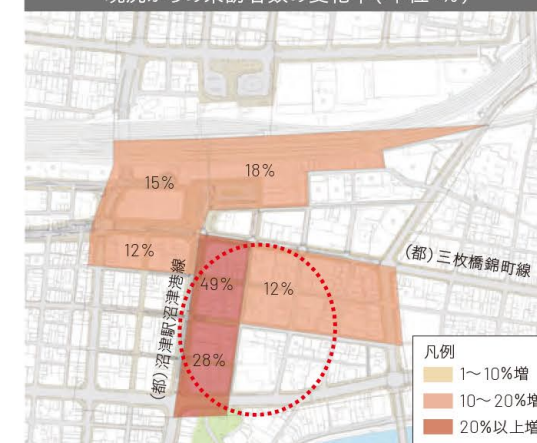
公共空間再編整備計画に関する主な取組	駅前広場	・UR敷地等を活用したまちづくりの活性化	
	駅前街路	・(都) 沼津駅沼津港線、(都) 三枚橋錦町線東側区間の設計・再編整備 ・沼津駅南口交差点の地上横断化	
地区交通体系	地区交通体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>■(都) 三枚橋錦町線東側区間                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場出入口の設置規制</li> <li>・自転車専用通行帯の設置</li> <li>・必要に応じた荷捌きスペースの整備、ルールに基づいた<b>商業者</b>による運用</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■(都) 沼津駅沼津港線                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場出入口の設置規制</li> <li>・自転車専用通行帯の設置</li> <li>・東西横断歩道の設置、スムーズ歩道化</li> <li>・必要に応じた荷捌きスペースの整備、ルールに基づいた<b>商業者</b>による運用</li> <li>・大手町バス停の乗降場確保(バス停の集約)</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーン30の導入検討</li> <li>・(都) 沼津駅沼津港線西側・東側の生活道路の歩車共存道路化</li> <li>・フリンジ駐車場の導入可能性の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(都) 沼津駅沼津港線西側・東側の生活道路の歩車共存道路化</li> <li>・フリンジ駐車場の導入可能性の検討</li> </ul>
都市空間デザインガイドラインに関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口駅前広場において、Activity,Streetの取組を実施(拠点施設を核とした<b>市民</b>による空間利活用の推進)</li> <li>・駅前街路において、<b>商業者</b>によるActivity,Streetの取組を段階的に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>公民連携</b>によるManagementの仕組みについて、エリア各地で運用</li> </ul>	

### ■シナリオのシミュレーション

#### PHASE-3で予測される歩行者の動き

- ・(都) 沼津駅沼津港線等の整備や地上横断化により、沼津駅南口交差点の南東エリアにおける来訪者数が増加する。
- ・駅まち環状エリア内の来訪者の平均トリップ数が現在と比べて約4%向上し、エリア全体の回遊性が高まる。

現況からの来訪者数の変化率(単位:%)



現況からの歩行者交通量の変化率(単位:%)

